

NST活動

血液内科では、抗がん剤などの化学療法に伴う食思不振や味覚障害によって経口摂取量が減少し、栄養不良となりがちです。

また同種造血幹細胞移植に伴う急性・慢性移植片対宿主病による消化器症状もしばしば見られます。

免疫不全状態の患者さんが多く、摂取食品に関しては栄養だけでなく、食事の衛生状態も併せて考える必要があります。

看護師や管理栄養士が定期的に患者さんの栄養状態を評価し、また医師からもNST介入が必要な患者さんをピックアップして、月2回のNSTサテライト・カンファレンスで相談しています。



活動ポイント

化学療法に伴う食思不振や味覚障害の程度は患者個々によって大きく異なります。また同種造血幹細胞移植に伴う栄養不良は、その病態とも深く関連しております。

我々は医師・看護師・管理栄養士のそれぞれの視点から意見を述べ合い、個々の患者さんの病態を含めた評価をし、それぞれに適した方法、タイミングで介入を行っています。